

御前崎港港湾計画資料

－ 軽易な変更 －

平成 20 年 3 月

御前崎港港湾管理者

静岡県

目 次

1. 変更理由	-----	1
2. 土地造成及び土地利用計画に関する資料	-----	2
3. その他の資料	-----	6
3-1 環境に対する検討	-----	6
3-2 地方港湾審議会委員名簿	-----	7

1 変更理由

土地利用形態の変更の要請に対応するため、女岩地区及び御前崎地区における土地造成及び土地利用計画を変更する。

2 土地造成及び土地利用計画に関する資料

(1) 土地造成及び土地利用計画の変更

今回計画により変更する土地造成及び土地利用計画は、次のとおりである。

表 2-1 土地利用計画の変更理由

地区名	既定計画		今回計画		変更理由
	土地利用	面積	土地利用	面積	
女岩地区	港湾関連用地	44.0ha	緑地 港湾関連用地	2.0ha 42.0ha	水辺を利用した親水性の高い緑地を形成するため、水際線に接した港湾関連用地の一部を緑地に変更する。
	緑地	13.9ha	港湾関連用地 緑地	2.0ha 11.9ha	企業の物流効率化の要請に対応するため、臨港道路に接した緑地の一部を港湾関連用地に変更する。
	合計	57.9ha	合計	57.9ha	
御前崎地区	埠頭用地	38.1ha	港湾関連用地 埠頭用地	13.3ha 24.8ha	物流効率化に対応した施設整備等を促進するため、埠頭用地の一部を港湾関連用地に変更する。
	工業用地	28.1ha	港湾関連用地 工業用地	2.4ha 25.7ha	企業の物流効率化の要請に対応するため、臨港道路に接した工業用地の一部を港湾関連用地に変更する。
	合計	66.2ha	合計	66.2ha	

(2) 土地造成及び土地利用計画

①土地利用計画の変更後と変更前は、次のとおりである。

表2-2 土地利用計画 (単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾関連 用地	交流厚生 用地	工業 用地	交通機能 用地	緑地	合計
女岩地区	(70.3) 70.3	(44.0) 44.0	(8.5) 8.5		(10.8) 10.8	(13.9) 13.9	(147.5) 147.5
御前崎地区	(24.8) 24.8	(21.7) 21.7		(25.7) 25.7	(10.8) 10.8	(6.3) 6.3	(89.3) 89.3

注1. () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2. 今回の軽易な変更に係る地区のみ記述した。

既定計画 (単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾関連 用地	交流厚生 用地	工業 用地	交通機能 用地	緑地	合計
女岩地区	(70.3) 70.3	(44.0) 44.0	(8.5) 8.5		(10.8) 10.8	(13.9) 13.9	(147.5) 147.5
御前崎地区	(38.1) 38.1	(6.0) 6.0		(28.1) 28.1	(10.8) 10.8	(6.3) 6.3	(89.3) 89.3

注1. () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

注2. 今回の軽易な変更に係る地区のみ記述した。

②土地造成計画の変更後と変更前は、次のとおりである。

表2-3 土地造成計画 (単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾関連 用地	交流厚生 用地	工業 用地	交通機能 用地	緑地	合計
女岩地区	(40.4) 40.4	(28.5) 28.5	(8.5) 8.5		(6.4) 6.4	(12.9) 12.9	(96.7) 96.7

注1. () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画で内数である。

注2. 今回の軽易な変更に係る地区のみ記述した。

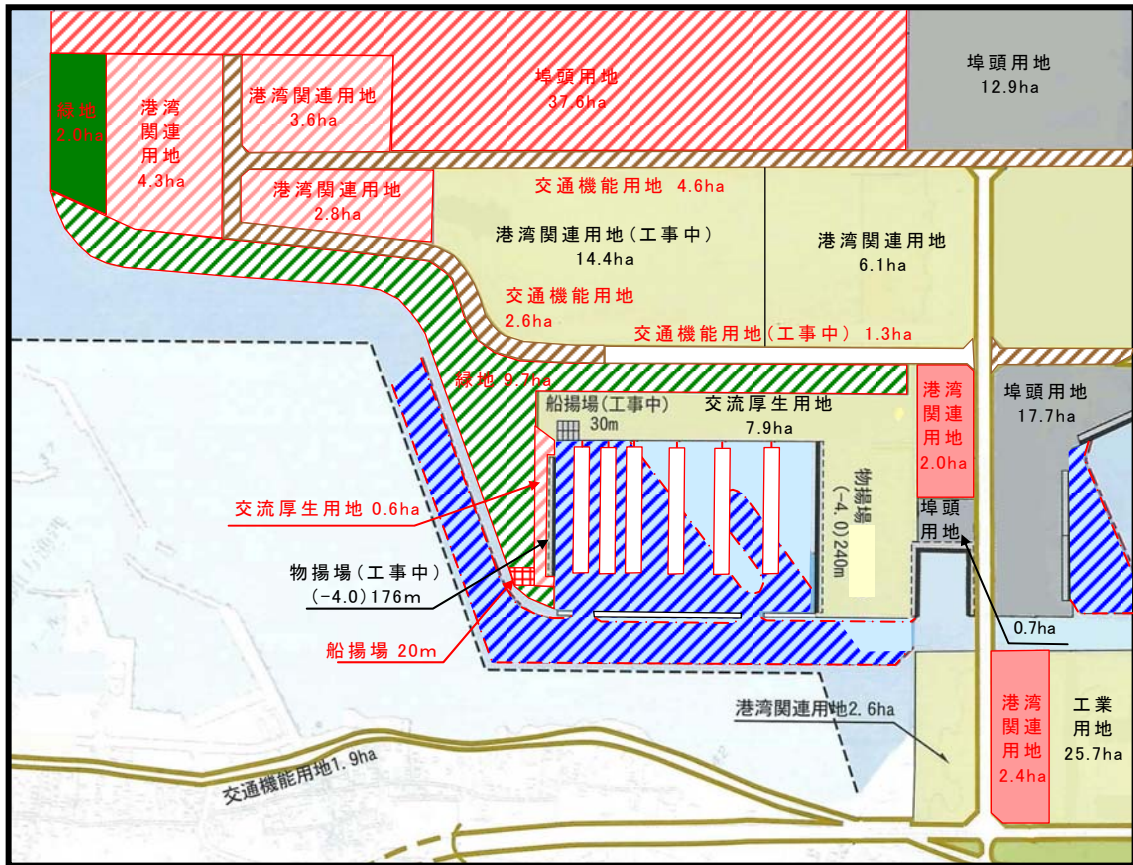
既定計画 (単位：ha)

用途 地区名	埠頭 用地	港湾関連 用地	交流厚生 用地	工業 用地	交通機能 用地	緑地	合計
女岩地区	(40.4) 40.4	(30.5) 30.5	(8.5) 8.5		(6.4) 6.4	(10.9) 10.9	(96.7) 96.7

注1. () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する区域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画で内数である。

注2. 今回の軽易な変更に係る地区のみ記述した。

【今回計画】



【既定計画】

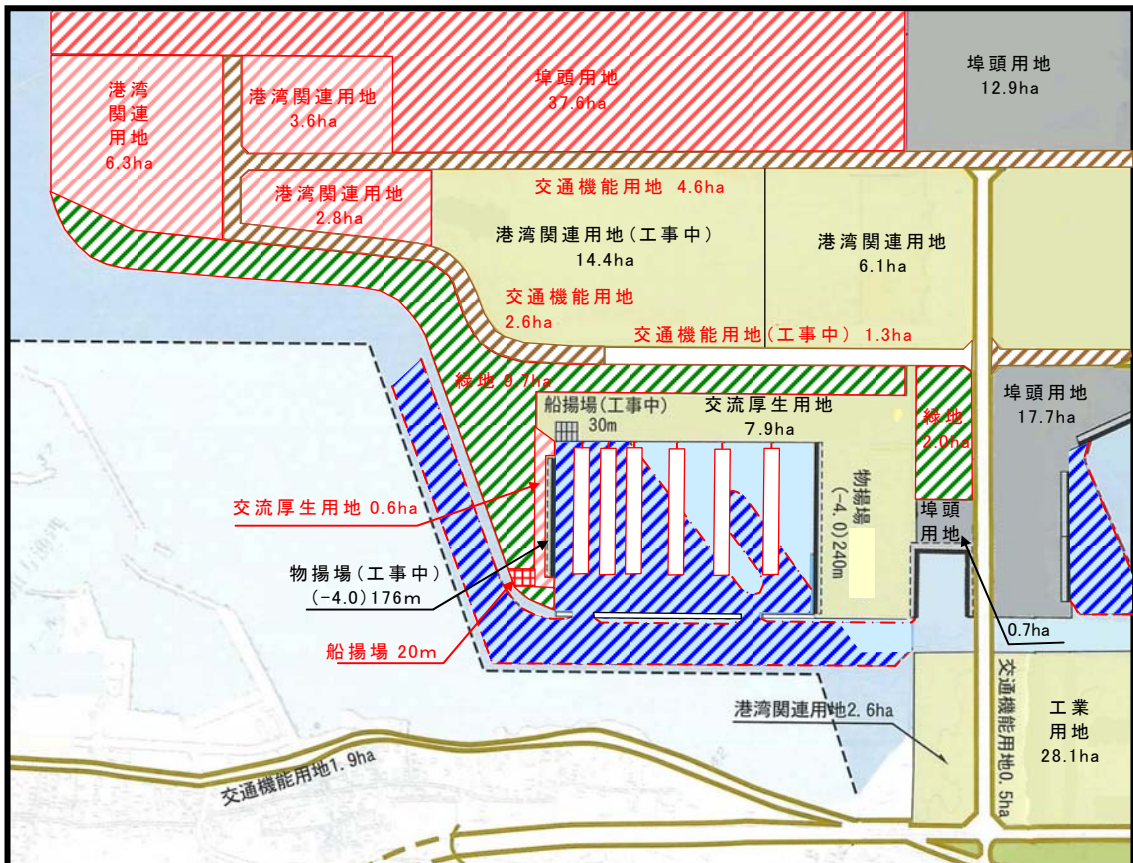
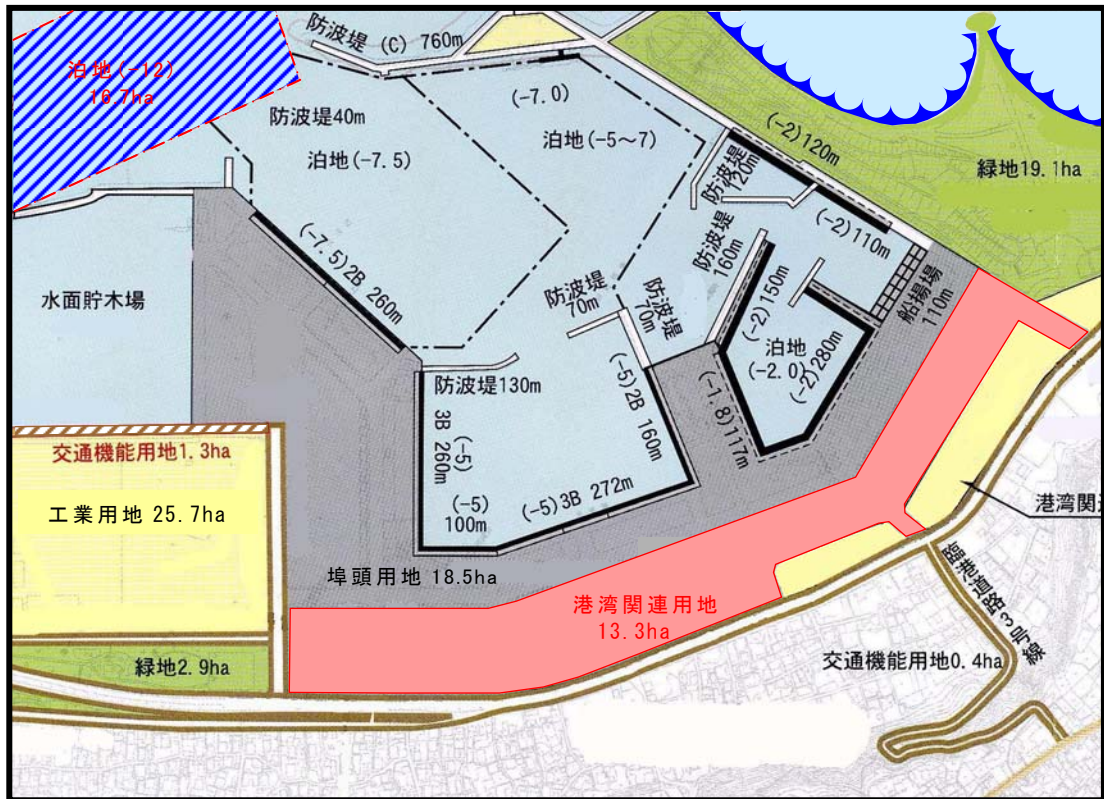


図 2-1 土地利用計画図 (女岩地区・御前崎地区)

【今回計画】



【既定計画】

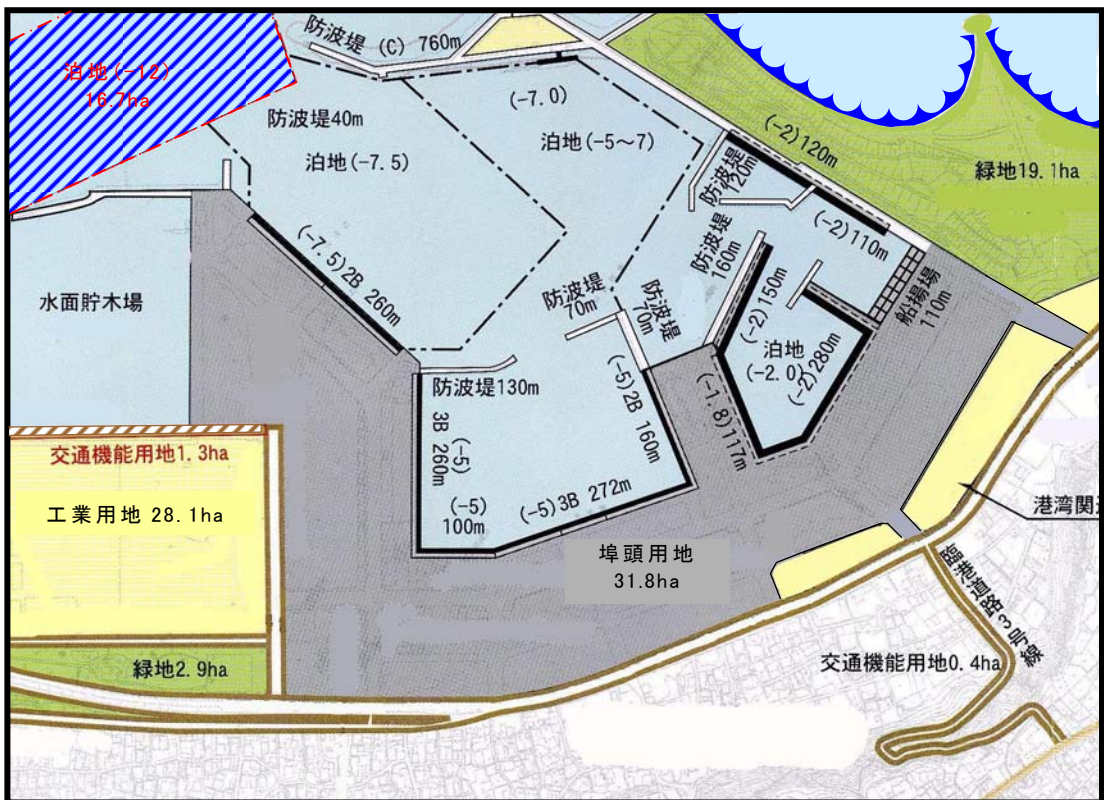


図 2-2 土地利用計画図（御前崎地区）

3 その他の資料

3-1 環境に対する検討

今回の計画変更に伴う負荷等の変化はわずかであることから、今回計画が周辺の環境に与える影響は軽微であるものと考えられる。

3-2 地方港湾審議会委員名簿

平成20年3月21日現在(敬称略、順不同)

区 分	氏 名	役 職 名
学識経験者	明 瀬 純 子	消費生活アドバイザー
	黒 田 秀 彦	(財)国際臨海開発研究センター理事長
	関 いずみ	海とくらし研究所主宰
	高 木 敦 子	(有)アムズ環境デザイン研究所代表取締役
	高 梨 成 子	(株)防災&情報研究所代表
	中 嶋 壽 志	(財)静岡経済研究所常務理事
	東 恵 子	東海大学開発工学部教授
	松 田 義 弘	東海大学海洋学部教授
	山 口 祐 子	浜松NPOネットワークセンター代表理事
港湾関係者	鈴 木 與 平	清水港船舶代理店会会長
	長谷川 潔	清水水先区水先人会会長
	増 田 勇 一	静岡県漁業協同組合連合会理事
	水 澤 秀 樹	関東船主会副会長
	山 本 貴美枝	御前崎エコクラブ
	和 田 正 繁	全日本海員組合静岡支部長
県議会議員	大 石 哲 司	静岡県議会建設委員長
地元市町を 代表する者	小 嶋 善 吉	静岡県港湾振興会会長
国の地方行政 機関の職員	岡 崎 匠	財務省名古屋税関長
	金 井 道 夫	国土交通省中部地方整備局長
	中 田 徹	国土交通省中部運輸局長
	宮 野 直 昭	第三管区海上保安本部清水海上保安部長
臨時委員	石 原 茂 雄	御前崎市長